

学校の教育目標(目指す子供像)

- ① 「健康で心豊かな子ども」の育成を教育活動の重点目標とし、児童同士、教師と児童等、様々な豊かな関わりの中で望ましい人間関係を築くことができるよう学習指導や生活指導、人権教育等を充実させる。人権尊重の精神の下、体験学習を多く取り入れた授業や資料・教材を活用し指導の工夫を図り、思いやりの心を持ち、互いに学び合い、認め合い、高め合い、結び合える子を育成する。
- ② 「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わわせる授業を構築する。児童の興味や関心に応じた学ぶ喜びを味わわせることのできる授業を工夫・改善する。生涯学習やキャリア教育の視点から、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図ると共に習得したことを活用し、思考力・判断力・表現力を育成する。また言語活動を重視した学習過程、個に応じた指導を取り入れ言語力の向上を図る。
- ③ 心と体の健康づくりを基本とし、体力の向上や心身の健康の保持増進に努めると共に自己の課題を粘り強く追及するたくましい精神力を培う。

進んで学ぶ子ども(知) 協力して責任を果たす子ども(徳) 健康で心豊かな子ども(体)
(重点目標)

＜学校経営の基本理念＞

“豊かな人間同士のふれあいを基盤に、この学校で学ぶことを通して、この先生に出会えて良かったと、子供からも保護者からも思われる学校でありたい”。

児童にとり小学校時代における教師との出会いは生涯に関係する大きな事柄である。児童、保護者、教職員を含めた人間同士の触れ合いを大切にする学校づくりを推進していく。

児童は「地域の宝」「日本の宝」である。教職員一人一人が自己啓発・自己研鑽に努めると共に、互いの力を磨き合い、学校が一体となって児童のために充実した教育活動を展開していく。

経営目標:重点目標と方策

◎学級数:24学級 ◎児童数:651人
(含特別支援学級:3学級)(家庭数:●●●人)

〔経営計画1年目の重点〕

- ◎居心地のよい・安心できる場所のある学校づくり
- ◎基礎的・基本的学力(熟度目標間)の向上と習熟
- ◎「いじめを絶対に許さない」組織的対応によるいじめ防止対策の取組(未然防止・早期発見・迅速対応)。教職員相互の情報提供・情報共有
- ◎教育活動の積極的な公開と情報公開による「地域に開かれた学校づくり」
- ◎教員の授業力向上(研究授業・OJTの活用)
- ◎特色ある教育活動(異学年交流、低学年からの英語活動、保幼小連携、副籍交流、地域行事参加)
- ◎コミュニティ・スクールの推進・充実・発展
- ◎副担任制・教科担任制の試行・検証
- ◎小中一貫教育推進(第七小学校・第五小学校・山田小学校・第七中学校の連携強化)。小中合同の取組(運動会・合唱コンクール参加等)。
- ◎小中連携による9年間を見越した学力向上

目指す学校像 1
一人一人の児童を大切にできる学校
→児童にとり、楽しく、魅力のある学校

目指す学校像 2
学び合い・高め合うことができる学校
→児童にとり「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わえる学校
→教職員にとり、明るく、働き甲斐のある学校

目指す学校像 3
保護者・地域を大切にできる学校
→保護者、地域に開かれた学校
ほこりがもてる学校・信頼される学校

目指す学校像 4
組織体としての機能を充実する学校
→教職員の協同体制、組織体としての機能が活性化し充実している学校

●評価:1年間の教育活動を振り返り年度末に自己評価します。

学校教育目標「進んで学ぶ子ども」の実現 **評価**

目標2 児童一人一人の課題の明確化・改善(各種学力調査の分析)
目標→「漢字学習」:朝学習の充実(毎週火・金)。新出漢字、既習漢字の復習等。漢字学習に特化した取組。
「算数学習」:放課後算数教室の充実。地域人材活用による少人数指導(児童は希望制)。基礎的基本的な学力向上。

目標5 第七小学校スタンダード充実・「授業理解」肯定的評価(目標 85%超)
目標→「授業が分かる」肯定的評価:4~6年生→目標:85%以上
「分かりやすい授業」肯定的評価:保護者→目標:85%以上
「適正な評価」肯定的評価:保護者・児童→目標:85%以上

目標6 達成感・満足感・成就感の獲得(校長室検定:都道府県・県庁所在地・九九)
「目標に向けて努力する」「自分自身へチャレンジする」。目標の明確化。
→漢字検定の活用(学校運営協議会委員協力)
受検者:R4:148名 R5:161名 R6:170名 R7:192名
合格率:R4:91% R5:90% R6:89% R7:92% 目標 85%以上

学校教育目標「協力して責任を果たす子ども」の実現 **評価**

目標1 豊かな関わりの中における望ましい人間関係
目標→異年齢交流の推進(たてわり班活動)。互いに「認め合い」「高め合い」「結び合う」望ましい人間関係づくりを通じて、高学年児童には自己有用感(「頼りにされている」)、低学年児童には高学年児童への「あこがれ」の気持ちが芽生える。本校の伝統を充実・発展。

目標2・3・4 道徳授業の充実 学校・家庭・地域が関わる児童の健全育成
目標→道徳授業地区公開講座(全学級授業公開)。スクールカウンセラーの4年生以上児童全員面接。「いじめ」未然防止・早期発見・迅速対応。相談できる大人(3人以上)。児童アンケート(年3回)。

目標5・6 副籍交流・交流学習の積極的推進
目標→「地域で共に生きる仲間」。間接交流(学校だより・手紙・作品交流等)、活動内容工夫。交流を通して互いに支え合い生きることの大切さ。地域の交流広がり。令和7年度:2名児童と直接交流。特別支援学校との直接交流(3~6年生)。島田療育センターはちおうじとの交流(5年生)。
目標→特別支援学級と通常の学級との日常的な交流及び共同学習の充実。

学校教育目標「健康で心豊かな子ども」の実現(重点目標) **評価**

目標2 「明るく元気な学校」の醸成・あいさつの励行(目標 85%超)
目標→保護者:肯定的評価の目標:85%以上
児童:肯定的評価の目標:85%以上

目標1・4 「外で元気に遊ぶ」肯定的評価(七小レガシー・異年齢交流)
目標→「一校一取組運動」:跳ぶんジャー、走るんジャー、レンジャーランド(運動委員会主体)。体をきたえる活動充実。
→体力調査結果:R7...96 測定項目中、49項目で都平均超。上体起こし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ:半分以上の学年で都平均超。筋力や敏捷性(反復横跳び)、それらにかかわる体の使い方に課題。「七小レガシー」「体育授業における取組」充実。

目標3 食育・健康安全教育的推進、健康でたくましい心身の児童育成
→給食管理員による食事マナー、食器の取扱等を全学級説明(毎日見回り)。地場野菜・地方食材使用等は放送・学校だよりにて広く周知。
→アレルギー対応事故防止の徹底。教職員研修の充実。
→放課後子ども教室推進委員会、民生委員等との交流

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 1・2 **評価**

目標1 一人一人の児童を大切にできる学校(目標 85%超)
【「適正評価・授業評価」肯定的評価】 【「落ち着いて学習できる」肯定的評価】
目標→保護者:適正評価:目標 85%以上 5~6年生:目標 85%以上 **授業評価**
保護者:授業評価:目標 85%以上 4~6年生:89% 目標 85%以上

目標2 学び合い・高め合うことができる学校
目標→ちよこつとOJT(教員相互の授業参観)。互いの授業を見合い「良い点」を自分の授業に取り入れる等、授業力向上・指導力向上システム構築(一人2回以上)。情報教育担当によるパソコン研修(スキルアップ)。
→教科担任制の試行・検証(4~6年生)。複数教員が児童とかかわり児童の新たな一面発見。積極的な児童理解の推進。
→校長室だより 100号以上発行。最新の教育事情を迅速に紹介。

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 3・4 **評価**

目標3 保護者・地域を大切にできる学校
目標→教育ボランティア(英語活動・放課後算数教室・九九検定・キャリア教育等)、安全ボランティア等、地域人材・外部人材(職場訪問・町探検)との積極的連携推進。地域人材・外部人材等との連携実施。
目標→HP毎日更新。学校だより、学級通信等各種たより積極的情報発信。

目標4 組織体としての機能を充実する学校
目標→学校評価年2回実施。各種学校行事アンケート全実施(評価結果・分析報告)。自由記述は全て公開(HP)。
目標→「担当-主任-委員長-主任教諭-主幹教諭-副校長-校長」(決済)。
目標→生活指導部、いじめ対策委員会、特別支援委員会、SC、SSW、医療・関係諸機関等連携。組織的対応の充実・工夫、課題解決。

中・長期的目標と方策(特色ある教育活動の推進) **評価**

目標1-(16) 2-(10) 4-(6・12) 安心安全な学校づくりの推進(目標 85%超)
目標→「いじめ防止への対応」肯定的評価 ※「いじめは絶対に許さない」5~6年生:目標 85%以上 強いメッセージの発信継続。
保護者:目標 85%以上 校長講話、学級指導成果。
目標→「友達をいじめることなく大切にしている」肯定的評価(目標 90%超) 1~3年生:目標 90%以上 4~6年生:目標 90%以上
目標→ふれあいアンケート(年3回)・いじめ防止授業、道徳授業地区公開講座(全学級公開授業)、いじめ対策委員会、SCの4・5・6年生児童全員面接、ふれあいメッセージ作成(全校児童)等、学校全体・組織的対応。
目標→アレルギー対応研修会実施、嘔吐処理セット・常備(各学年団)。
目標→避難訓練:様々な場面・実施時間・実施状況等を想定し毎月実施。

学び合い・高め合う:「学力・体力の向上」「落ち着いて安心して学べる学校」「保護者、地域社会との連携」「信頼される学校づくりに向けて」 **評価**

目標→R5・6東京都教育委員会体育健康推進校の成果を日常の授業に生かす。研究授業(4回以上)。
目標→交換授業、合同授業、教科担任制、習熟度別指導等の多様な指導方法活用。朝学習(主に漢字学習)、放課後算数教室等による学力向上の習熟。
目標→小中合同あいさつ運動、児童代表委員会、たてわり班によるあいさつ運動(各学期1回以上実施)。交流及び共同学習や近隣特別支援学校等との交流。
目標→校内研究(ICTを活用した授業実践)。低学年からの英語活動充実。外部人材による指導。日常的な英語活動。

目標2-(2・6) 「認め合い」「高め合う」人間関係育成(異年齢交流) **評価**

目標→6年生は自己肯定感やリーダーシップ能力向上。自己有用感の芽生え、自尊感情の高まり。キャリア教育の一環。
目標→5年生は「この学校の代表になる」という主体性や溢れるやる気。下学年にはフォロワーシップ能力が芽生える機会。異学年交流は第七小学校の「特色ある教育活動」の一つ。伝統的活動(年4回以上)。